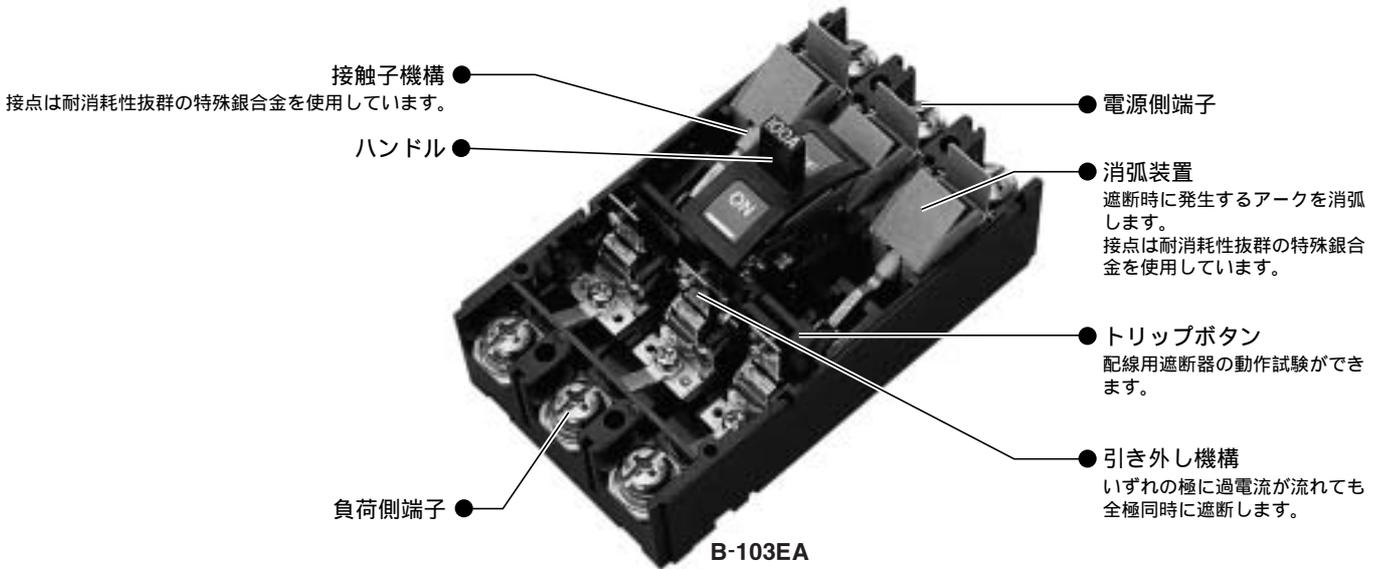
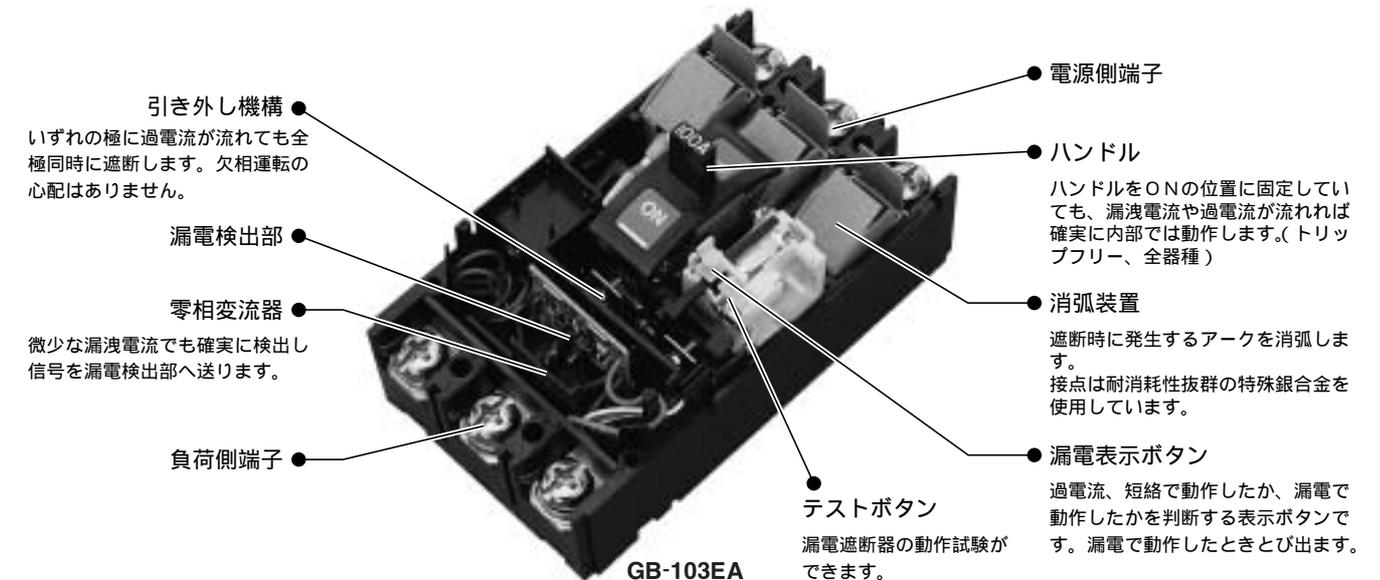


資料

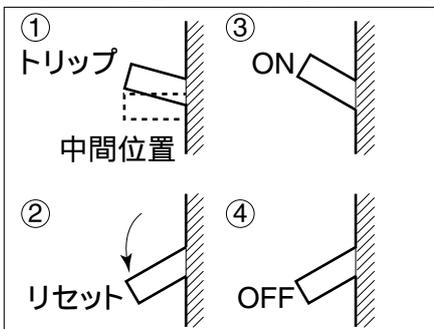
構造【配線用遮断器】



構造【漏電遮断器】



●ハンドル位置とトリップ時の再投入について



動作(トリップ)した後で再投入する場合は、動作した原因を取り除いて安全を確認してからONの操作を行ってください。

再投入する場合は、リセット位置までハンドルを戻してからONの操作を行ってください。

(図 参照)

(安全ブレーカタイプ、単3中性線欠相保護付配線用遮断器および単3中性線欠相保護付漏電遮断器を除く。)

Eシリーズ(経済タイプ)の30AF~60AFおよびKシリーズ(分電盤協約形サイズ)は、動作(トリップ)するとハンドル位置は中間位置になります。(図 の)

再投入する場合は、ハンドルをいったんOFF位置まで戻してからONの操作を行ってください。(図 参照)